

企業で取り組む環境経営
エコアクション
21 vol.14

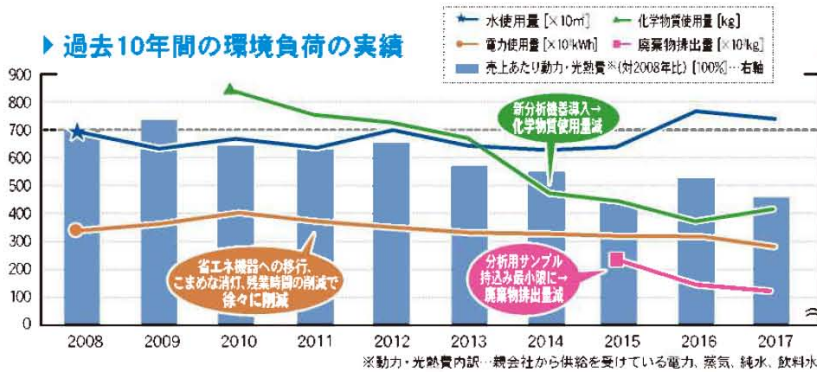


お話を聞きしたのは エクスラン・テクニカル・センター
株式会社エクスラン・テクニカル・センター 分析センター

取締役 分析センター所長
ともしり まさひこ
登森 賢彦 さん

主任 公害防止管理者(水質)
おもて たくみ
表 拓未 さん

▶ 過去10年間の環境負荷の実績



環境調査を行う企業として
エコアクション21で
多岐にわたる取り組みを
体系的にアウトプット

— エコアクション21に
取り組まれたきっかけは？

環境調査を行う企業として自らも環境対策が必要であると考え、エコアクション21(以下E A 21)の取り組みを始めました。E A 21には環境調査を営む企業として、本業も含めた企業全体の環境活動を体系的にアウトプットする手段として有効性を感じていました。廃棄物量等をデータ化し数値を比較することにより、作業工程におけるロスが検証でき、化学物質の使用量を削減することで、作業環境の改善につながりました。また、法令遵守に関する理解が進み、文書作成のスキルアップにも、各担当が原単位と売り上げ、その変動の背景といった経営面を鑑みながら業務に携わることができると、継続する中で人材育成という効果も見えてきました。顧客が環境改善でどのような点に苦労しているのか、自社の取り組みを通して理解することもでき、共感をもった対話と具体的な営業提案の材料にもなっています。

— 廃棄物削減と省エネに関する
取り組みを教えてください。

分析作業では化学物質を使用します。施設管理や使用量の記録

はもちろん、使用量の推移を振り返ることで無駄を抑えています。作業の精度向上によって廃試薬の発生を抑えたり、顧客に的確な説明をすることで分析用サンプルの持ち込みを最小限にし廃棄量を減らすなど、細かな努力も。

2014年には新しい分析機器を導入し、一部の試薬の使用量を劇的に減らすことができました。照明や冷暖房設備を省エネタイプに移行し、業務以外はスイッチオフに努め、電力使用量の削減活動を進めています。近年は働き方の見直しで残業時間を削減し、環境経営・健康経営を両立。乾燥機など分析作業に用いる熱源は消費電力が多いので、機器ごとに担当者を決めて管理しています。また、化学物質を扱う現場では徹底した火災対策が必要なので、保守点検とも関連づけて管理を行っています。

— これから取り組む企業に
伝えたいE A 21の魅力は？

私たちの取り組みはE A 21を意識してわざわざ行っているわけではなく、業務の中での積み重ねをE A 21の視点でまとめるこ

とで問題点を特定し、改善を現実的なものに行っています。自然と効果が感じられるのでモチベーションアップにつながり、コストダウンや業務改善にも、安価で継続しやすいのも魅力です。



近隣小学校のサケの稚魚を飼育する活動に、分析業務で使用する酸素ポンプを輸送用に提供。水圏生態系の調査を行う企業として協力しています。

株式会社エクスラン・テクニカル・センター 分析センター
所在地 〒704-8194 岡山市東区金岡東町三丁目3-1
従業員数 67人(分析センター) 認証・登録日 2007年5月
水質、土壌、大気質等の環境調査、食品検査、環境アセスメント等を行っています。

エコアクション 21

環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証し登録する制度です。エコアクション21



エコアクション 21 地域事務局岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1 Tel 086-298-2122 Fax 086-298-2496
Mail ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp